

講演論文原稿の書き方 (和文表題 : Gothic 14pt)  
MS-Word の場合 (和文副題 : Gothic 12pt)  
Guide for the manuscripts (英文表題: Times New Roman 12pt)  
The case of MS-Word (英文副題: Times New Roman 12pt)

伝正 \*伝熱 太郎 (伝熱大学) 伝学 対流 次郎 (伝熱大学)

Taro DENNETSU<sup>1</sup>, Jiro TAIRYUU<sup>1</sup>

<sup>1</sup> Dept. of Mech. Eng., Dennetsu Univ., 5-1-5, Kashiwanoha, Kashiwa, 277-8563

Please write abstract here about 100 words .....

*Key Words:* Heat transfer, Boiling, Two-phase flow, Forced convection (3-5 words)

1. 大見出し

1.1 中見出し 中見出しの場合は、本文を続けてはじめます。大見出しは改行し、中見出しの場合は本文を続けます。

1.2 原稿 講演論文原稿は電子版原稿 (CD-ROM) のみです。講演論文の長さは1 題目あたり A4 サイズで原則 2~6 ページです。原稿の作成には、本ファイルをテンプレートとしてお使い下さい。

1.3 表題およびアブストラクトの書式 和文表題, 和文副題, 英文表題, 英文副題, 和文著者名 (会員資格, 著者名, 所属の略記), 英文著者名, 英文所属機関・所在地, 英文アブストラクト, 英文キーワードの順とします。連名者がある場合には和文著者名を2 段組みで作成し, 講演者の前に「\*」印をつけ, 英文の所属機関・所在地については上付き数字で区別してください。アブストラクトは 100 文字程度の英文で 10 ポイント Times New Roman 体の 1 段組みで作成してください。幅 140mm に収まるようにレイアウトしてください。

1.4 本文の書式 本文は 10 ポイント明朝体の 1 段組 (1 行 50 字程度) で作成して下さい。1 段組×50 字×46 行とし, カラーの使用が可能です。ファイル容量は最大で 2MB までとし, アニメーションは含まないものとします。

2. 数式, 表, 図の書き方

2.1 数式サンプル 数式(1)のように, 数式スタイルを適用し, タブを挿入し, 式番号を右端に付します。

$$f = ma \tag{1}$$

2.2 表サンプル 表1のように, 表中の記号およびキャプションは英語で書きます。塗り, ハッチングはできるだけ利用しないで下さい。

Table 1 Sample table.

A	a	1
B	b	2
C	c	3
D	d	4

2.3 図サンプル 図1のように, 図中の記号およびキャプションは英語で書きます。電子版原稿はカラー表示が

可能です。

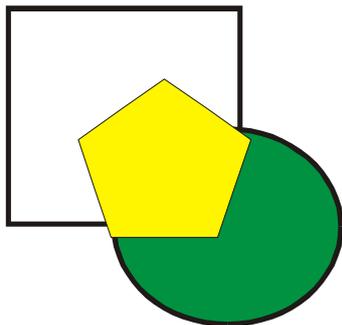


Fig. 1 Sample figure.

### 3. 参考文献の引用の仕方

参考文献は、本文中の引用箇所の右肩に小括弧をつけた番号<sup>(1)</sup>で表し、本文の末尾に下記のようにまとめて列記します<sup>(2)</sup>。

(番号) 著者名, 雑誌略称, 巻-号(発行年), 先頭ページ番号.

### 4. 原稿提出について

4.1 PDF ファイル PDF ファイルの作成にあたり、「フォントの埋め込みを行う」よう設定して下さい。原稿は、提出前に必ず複数のデバイス等で文字化けがないことを確認して下さい。

4.2 原稿提出 原稿の提出はシンポジウムのホームページより行います。講演論文投稿サイトにアクセスし、原稿をアップロードして下さい。

### 参考文献

(1) 伝熱・他 2 名, 機論(B), 12-345(2006), 1234.

(2) T. Dennetsu et al, J. Thermal Sci. Technol., 12-345(2017), 1234.